

- 問1 中国における1980年から2050年までの年齢別人口構成の推移をまとめた統計において、将来的にその割合が低下し、製造業などにおける労働力不足を招くと懸念されている「15歳から64歳」の人口区分を何と呼びますか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 老年人口 2. 生産年齢人口 3. 非労働力人口 4. 年少人口
- 問2 グローバル化が進展する中で、日本、アメリカ、オーストラリアなど、太平洋を取り囲む国々や地域が経済的な結びつきを強め、地域の発展や安定を目指して協力する枠組みを何といいますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. APEC (アジア太平洋経済協力) 2. EU (欧州連合) 3. ASEAN (東南アジア諸国連合) 4. TPP11 (環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)
- 問3 インドにおいて人口の約8割を占める宗教の特色と、その周辺国への影響について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にすることがあり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。
2. パキスタンやバングラデシュにおいて、人口の大部分が信仰している宗教と同一である。
3. 唯一絶対の神を信仰する一神教であり、インド国内では約15%を占める第2の宗教となっている。
4. 釈迦によってインドで開かれた宗教であり、現在はインドよりもタイやミャンマーなどの東南アジアで広く信仰されている。
- 問4 アジア地域で見られる、季節によって吹く方向がほぼ反対になる風を何といいますか。1月には大陸から海洋へ向かって北東の風が吹き、7月には海洋から大陸へ向かって南西の風が吹くことで、地域の降水量や農業に大きな影響を与えるものを答えなさい。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 貿易風 2. 偏西風 3. 季節風 (モンスーン) 4. 海陸風
- 問5 アジアの諸国に関する統計資料において、国土面積に対する森林面積の割合が0.5パーセントと極めて低く、年間の一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンと非常に高い数値を示している国があります。この国の特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. インドネシアであり、熱帯雨林の減少が問題となっている一方で、一人当たりの経済水準が急速に向上したことで排出量が急増している。
2. サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。
3. インドであり、人口増加にともなう耕地拡大により森林が減少しており、石炭を主燃料とした火力発電への依存から排出量が増加している。
4. 中国であり、急速な工業化にともなって森林破壊が深刻化しており、膨大な人口によるエネルギー消費で排出量が世界最大となっている。
- 問6 日本への輸出額がEUへの輸出額を上回っている東南アジアの国、インドネシアの宗教的・地理的背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 日本よりもヨーロッパ諸国との貿易額が常に大きい内陸国である
2. 世界最大のイスラム教徒人口を抱える島国である
3. 国民の約9割がキリスト教を信仰する多民族国家である
4. 仏教徒が人口の大部分を占め、日本へは主に米を輸出している
- 問7 世界の統計において、アジア州の二酸化炭素排出量が世界全体の50%を超える高い水準となっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 中国やインドをはじめとする国々で急速な工業化が進み、石炭などの化石燃料の消費量が大幅に増加したため。
2. 北アメリカやヨーロッパの国々で全ての工場をアジアに移転し、自国での排出量をゼロにする政策をとったため。
3. 西アジアの産油国において、石油の精製過程で発生する二酸化炭素が州全体の排出量のほとんどを占めているため。
4. アジア州の全域で熱帯林の破壊が進み、植物による二酸化炭素の吸収量が世界で最も少なくなったため。
- 問8 タイやマレーシアでは、1980年代以降に工業化が推進されました。2015年時点の統計において、タイでは輸出額の約31.6%、マレーシアでは約40.3%を占めるまでに成長した、工業化を象徴する品目を選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 衣類 2. 原油 3. 機械類 4. 天然ゴム
- 問9 ヒンドゥー教の遺跡群であるミーソン聖域などの世界遺産を有し、1953年にフランスから独立した歴史を持つ東南アジアの国について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 1995年にASEANに加盟し、近年は工業化が進んだことで、日本に対する貿易収支が黒字に転じた。
2. フランスから独立した後は一度も南北に分かれることなく、一貫して民主主義体制を維持した。
3. アンコール・ワットに代表される大規模な仏教遺跡が、観光における最大の中心となっている。
4. 1960年代のASEAN結成当初からの加盟国であり、日本への最大の輸出品は米である。
- 問10 中国の農業において、北部の地域で小麦の生産量が世界的に見ても極めて多い理由として、自然環境の観点から説明したものを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 年間を通じて温暖多湿な気候であり、水田での二毛作が容易であるため
2. 石炭の産出量が多いため、そのエネルギーを利用した大規模な温室栽培が普及しているため
3. 年降水量が比較的に少なく乾燥している気候が、畑作に適しているため
4. 季節風の影響を全く受けないため、一年中安定した収穫が可能であるため
- 問11 アジア州の歴史的背景について述べた資料において、中国の北部に築かれた長大な壁状の遺構である「万里の長城」について触れられています。この建造物が築かれた主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 北方の遊牧民による侵入を防ぐため
2. 南方の熱帯地域から伝来する疫病が国内へ拡大するのを防ぐため
3. シルクロードを経由した東西交易における関税を徴収するため
4. 黄河の氾濫による大規模な洪水から農地を守るための堤防とするため
- 問12 西アジアや北アフリカなどで広く信仰されているイスラム教の文化において、食事や生活に関する記述として適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. お酒 (アルコール) を飲むことは、砂漠地帯の厳しい暑さをしのぐための文化として教義で認められている。
2. 全ての動物の肉を食べることは禁じられており、野菜を中心とした穀物のみの食生活が基本である。
3. 礼拝は週に一度、金曜日にのみ行われることになっており、場所や方角は自由である。
4. ラマダーン (断食月) の間は、日の出から日没までの間、飲食を控えるきまりがある。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 生産年齢人口	15歳から64歳までの層は「生産年齢人口」と呼ばれ、社会の経済活動を支える中心的な存在です。中国では長年続いた一人っ子政策などの影響で少子高齢化が進んでおり、この層の人口減少が将来の経済成長を抑制する要因として問題視されています。
問2	答え 1 APEC（アジア太平洋経済協力）	太平洋沿岸の国々が経済的な協力を行うための枠組みであり、1989年に発足しました。貿易や投資の自由化を促進し、地域全体の持続的な成長を目指しています。ASEANは東南アジア、EUはヨーロッパの地域協力組織である点に注意が必要です。
問3	答え 1 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にする習慣があり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。	インドの多数派であるヒンドゥー教は多神教であり、牛を神聖視して牛肉を食べないといった食文化上の特徴があります。これに対し、隣国のパキスタンやバングラデシュではイスラム教が多数派となっており、宗教の違いが国家の分離独立や文化的な差異の背景となっています。なお、インド国内で約15%を占めるのはイスラム教であり、仏教はインド発祥ですが現在の信者数は限定的です。
問4	答え 3 季節風（モンスーン）	大陸と海洋の比熱（温まりやすさと冷めやすさ）の違いによって生じる風で、アジアの気候を特徴づける最大の要因です。1月には冷え込みやすい大陸から比較的暖かい海洋へ、7月には暖まりやすい大陸に向かって湿った海洋から風が吹き込みます。この風向きの変化が、地域に雨季と乾季をもたらします。
問5	答え 2 サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。	サウジアラビアは降水量が極めて少ない乾燥帯に位置するため、森林面積割合が1パーセントにも満たないという特徴があります。一方で、世界有数の石油産出国であることから、国内のエネルギー消費において石油やガスへの依存度が高く、一人当たりの二酸化炭素排出量は先進工業国や他のアジア諸国と比較しても突出して高い傾向にあります。
問6	答え 2 世界最大のイスラム教徒人口を抱える島国である	インドネシアは東南アジア諸国連合（ASEAN）の主要メンバーであり、国民の8割以上がイスラム教を信仰しています。これは世界で最も多いイスラム教徒人口です。また、鉱物資源やエネルギー資源の輸出を通じて日本と深く関わっており、統計上も日本への輸出額がEU向けの輸出額を大きく上回る傾向にあります。フィリピンなどはキリスト教徒が多い島国ですが、インドネシアとは宗教構成が異なります。
問7	答え 1 中国やインドをはじめとする国々で急速な工業化が進み、石炭などの化石燃料の消費量が大幅に増加したため。	アジア州の排出量が突出している主な要因は、人口大国である中国やインドが「世界の工場」として急速な経済成長を遂げたことにあります。これらの国々では、発電や工業生産のエネルギー源として石炭が多く利用されており、その燃焼に伴って大量の二酸化炭素が算出されています。他の選択肢にあるような工場移転のみが理由ではなく、アジア自体の経済発展とエネルギー構造が背景にあります。
問8	答え 3 機械類	1980年時点では、タイやマレーシアの主要な輸出品目は天然ゴムや原油、木材などの一次産品でした。しかし、その後の工業化によって輸出額全体が大きく伸びるとともに、輸出品目の内容も変化しました。2015年にはどちらの国でも機械類の輸出が最も大きな割合を占めるようになり、特に電子機器や電気機器、自動車部品などの工業製品が世界各地へ輸出されています。この変化は、東南アジアが「世界の工場」の一部として機能するようになったことを示しています。
問9	答え 1 1995年にASEANに加盟し、近年は工業化が進んだことで、日本に対する貿易収支が黒字に転じた。	ベトナムは1953年の独立後、ベトナム戦争による南北分裂を経験しましたが、1976年に統一されました。1990年代以降、ASEAN加盟や市場経済の導入により経済が発展し、2000年代以降は日本への工業製品の輸出が増え、対日貿易が赤字から黒字に転じるなどの変化が見られます。他の選択肢にある米の輸出やアンコール・ワット、結成時からのASEAN加盟などは、タイやカンボジアなどの他国に関する記述です。
問10	答え 3 年降水量が比較的少なく乾燥している気候が、畑作に適しているため	中国北部では、南部と比べて降水量が少なく、気候が乾燥しているため、水田が必要な稲作よりも、乾燥に強い小麦などの畑作が発展しました。この広大な平原を利用した大規模な栽培により、中国は小麦の生産量で世界一の座を占めています。なお、石炭は中国の重要な資源ですが、小麦の生産理由とは直接関係ありません。
問11	答え 1 北方の遊牧民による侵入を防ぐため	中国の北部は、農耕を主とする定住民が住む地域と、広大な草原で家畜を連れて移動する遊牧民が住む地域の境界にあたります。古くから、馬を自在に操り高い戦闘能力を持つ遊牧民族の軍事的な圧力を抑えることが、中国の歴代王朝にとって大きな課題でした。そのため、秦の始皇帝が各地の壁をつなぎ合わせて大規模な長城を整備し、その後も明の時代にいたるまで修築や増築が繰り返されました。
問12	答え 4 ラマダーン（断食月）の間は、日の出から日没までの間、飲食を控えるきまりがある。	ラマダーンはイスラム暦における「断食月」を指し、この期間のムスリムは、日の出から日没までの間、水を含めて一切の飲食を断つことで、忍耐や食べ物恵みへの感謝を学びます。イスラム教において豚肉やアルコールの摂取は禁忌とされていますが、牛肉などは適切な手順で処理されていれば食べることができます。礼拝は週に一度ではなく、毎日5回、決まった方角（メッカ）に向かって行われます。